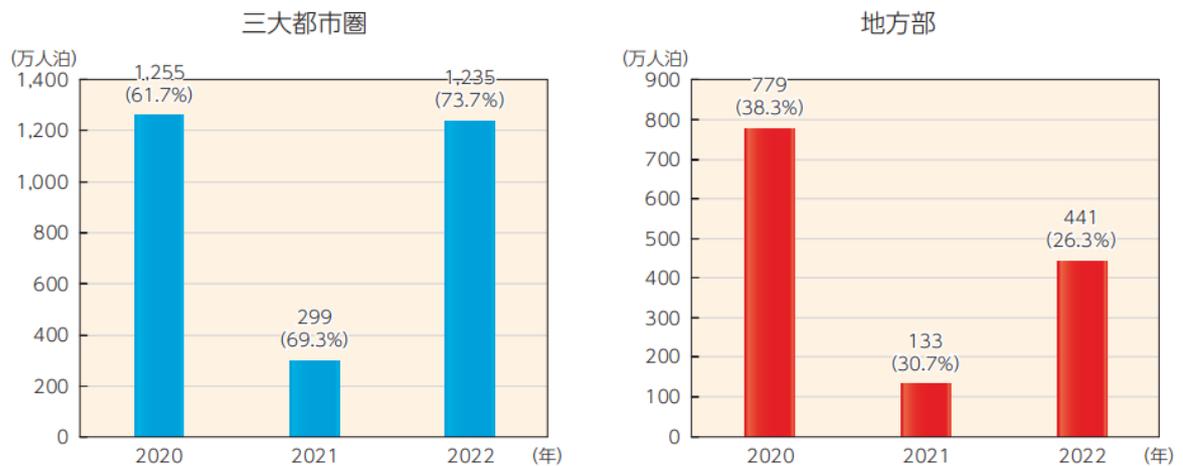


山梨県立大学国際政策学部 令和6年度3年次編入
小論文 問題

日本を訪問する外国人旅行者の延べ宿泊者数は2019年にピークを迎え、その数は1億1,566万人泊でした。その後新型コロナウイルス感染拡大により、急速に減少しました。

以下の図は、観光庁が発表した『令和5年版観光白書』に掲載された、「三大都市圏及び地方部の外国人延べ宿泊者数の推移」です。まず、この「三大都市圏」と「地方部」の図を比較して、読み取れる現状とその理由を説明してください。次いで「三大都市圏」か「地方部」のいずれかを選び、どのような活性化の取り組みが可能か、あなたの考えを具体的に論じてください。

(800字以内)



資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

注1：2022年(令和4年)は速報値。

注2：三大都市圏とは、「東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県」の8都府県を、地方部とは、三大都市圏以外の道県をいう。

注3：()内は構成比を表している。

図：三大都市圏及び地方部の外国人延べ宿泊者数の推移

出典：観光庁、2023年、『令和5年版観光白書』より引用